

改訂第6版によせて

このたび「改訂第6版日本救急医学会ICLSコースガイドブック」を皆様にお届けすることができ、大変嬉しく思います。

2004年から認定がはじまったICLSコースは20年以上にわたり、蘇生の現場で役立つ知識と技術をお届けしてまいりました。過去に4回ガイドラインに合わせて改訂を行い、今回も「JRC蘇生ガイドライン2025 オンライン版パブリックコメント用」が発表される時期に合わせ、埼玉医科大学救急科教授の高平修二先生を長とした教材開発ワーキンググループを中心に改訂作業を行ってまいりました。今回もILCORの国際コンセンサスならびに「JRC蘇生ガイドライン2025」に準拠した内容に刷新しております。ぜひお手にとってご覧ください。

二十余年の間に学習方法の多様性、効率化、復習の機会の充足など、さまざまな分野で著しい進歩、変革が起っており、ICLSもさらなるブラッシュアップを試みております。今回の改訂に合わせて、同グループを中心にICLSの動画コンテンツを作成いたしました。こちらの内容ももちろん「JRC蘇生ガイドライン2025」に準拠したものとなっております。皆様の心肺蘇生法の習得、復習にお役立ていただければ幸いです。

また現在、知識とスキルを事前に学習することで、当日のコース時間を減らすことができる「短縮コース」の導入も進めております。われわれの提供するこの第6版のガイドブックと、新ホームページに導入予定の動画コンテンツを含むe-learningシステムを用いることで、時間を短縮しても十分な学習内容となるように配慮しております。2027年初頭を目安に導入を予定しておりますので、皆様もう少々お待ちください。

ICLSの活動を支えてくださる皆様、ICLSを学んだ皆様により、一人でも多くの方の「人生」を救い、社会復帰につなげられることを祈念しております。

2026年10月

日本救急医学会ICLSコース企画運営委員会 委員長
(岩手県立中部病院 外科・災害医療科・救急医療科)

邑田 悟